

かわにし

議会だより

第102号

2010

7.15

水しぶきをあげて

中郡幼稚園

名誉町民

井上ひさし先生寄らかに 2

これで安心 災害復旧 4

追悼事業など4議員が町政をただす 6

名誉町民

井上ひさし先生

6月
定例会

安らかに

プラザに常設展示 追悼記念事業に1962万円

文 化功労者、川西町名誉町民である井上ひさし先生が、今年4月に亡くなられた。

日本を代表する作家・劇作家として数多くの作品を世に送り出し、多くの感動を与えた功績はきわめて大きく、心から哀悼の意を表する。

町では、先生が果たされた芸術文化振興の功績をたたえ、追悼記念事業を行うため、事業費1962万円の予算補正を行った。

昭和62年に、井上先生から約7万冊の蔵書を町に寄贈いただき、遅筆堂文庫が開設されたことを契機に、平成

6年にフレンドリープラザが完成した。図書館に併設された遅筆堂文庫に、その後も本や貴重な資料の寄贈が続き、現在22万点に及んでいる。

追悼事業は、①井上ひさし記念常設展示場設置、②こまつ座「父と暮らせば」追悼公演、③遅筆堂文庫講演会の開催等である。常設展示場は図書館1階を改修し、先生の業績、略年表、作品譜、ポスター等を展示するスペースを設置するとともに、円柱利用書棚（本の樹）に全国から先生の著作本を送っていただき納めていくことにしている。

井上ひさし先生略歴

昭和9年小松町（現川西町）に生まれる。小説家、劇作家、放送作家。文化功労者、芸術院会員。平成22年4月逝去。享年76歳。上智大学卒業後、昭和39年から5年間NHK「ひよっこりひょうたん島」をてがけ、昭和47年「手鎖心中」で第67回直木賞受賞。昭和62年ふるさとに蔵書を送り遅筆堂文庫を開設。生活者大学校を運営した。日本ペンクラブ会長、直木賞をはじめ多くの文学賞の選考委員を務めた。遅筆堂は井上さんの号。

6月定例会のあらまし

6月定例会が6月8日から18日までの11日間の会期で開催されました。

- 第1日目に、平成21年度2会計の繰越計算書の報告、財政援助団体の経営状況報告3件の報告の後、5会計補正予算の専決処分を承認しました。条例2件、指定管理者の指定1件、平成22年度6会計補正予算を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会にそれぞれ付託しました。
- 第2日目に、一般質問を行い4議員がまちづくりなどをとりあげ、町政をただしました。
- 第3日目以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査しました。
- 最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き、付託した9議案を原案通り可決、請願2件を採択し、3件の意見書を提出することにしました。

ありがとう井上ひさし先生

東 沢
小方 圭子さん

私は「イーハトーボの劇列車」を観て生活者大学校に参加し、生活者大学校が縁で川西町に嫁ぎました。井上先生は、私の恩人です。



米沢市
荒澤 久美さん

井上先生の「作品を読んでもほしい」という言葉を大切に、遅筆堂文庫が現在から未来へとつながっていく広場になりますように。





コスト削減に向けて大型コンバインを導入

経営体育成交付金は、新規就農者、さらなる経営発展を目指す経営体の育成確保を図る上で必要な支援を総合的に実施する事業。補助対象は7件。（分科会質疑参照）

その他の主な事業

・井上ひさし先生追悼記念	委託料等	329万円
・井上ひさし先生追悼記念	工事費	1632万円
・フレンドリープラザ指定管理	委託料	350万円
・置賜広域行政事務組合負担金		154万円
・中学校維持管理	工事費	153万円
・活力ある園芸産地創出支援		663万円
・畜産規模拡大支援		525万円
・創意工夫プロジェクト支援		357万円
・川西ブランド確立	旅費	33万円

補正予算

置賜公園

これで安心 災害復旧

予算特別委員会は、常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計等6会計補正予算、関係条例を審議し、全議案全員賛成で可決しました。ここでは総括質疑、主な補正予算、分科会での質疑を要約してお伝えします。

総括質疑

経済対策等が不十分では

高橋輝行 議員

問 平成21年度末に9000万円の地方交付税（特別交付税）収入があった。それを受けた一般会計補正予算をみると、財政調整基金等に約1億円を積み立てている。標準財政規模の5%以上の財政調整基金積立の必要性は十分理解するが、経済対策や統合中学校開校準備等の対策が不十分ではないか。

答 万全を期してしっかりと対策をしていく。統合中学校の開校に向けて整備をしていく。

災害復旧 1500万円

置賜公園北側の斜面の一部が崩壊したため早急な災害復旧がのぞまれていたことから「補強盛土擁壁工」を行う。盛土による斜面の保護とあわせて適切な排水溝を整備する。



復旧急ぐ崩落現場・置賜公園北側

繰越金は確保できたか

佐々木賢一 議員

問 平成21年度末に財政調整基金と町債管理基金に、合わせて1億0392万円を積み立てることができた。

これまで、補正予算の財源調整に繰越金を活用してきたが、昨年度からの繰越金は予算

答 平成21年度末に、繰越金8000万円は確保できる見通しである。

「未来館」との関係はどうする

橋本欣一 議員

問 故井上ひさしさんの「井上ひさし未来館」が、来年5月に山形市のシベールアリーナに開館予定である。内容は、自宅書斎の再現や、講演を聞いた全著作を見ることのできるコーナーを設ける等であるが、町

答 以前から企画されており、「運筆堂文庫」との協調により、井上さんのメッセージをより多くの人に伝えたい。

分科会質疑

問 井上ひさし先生追悼記念事業は、常設展示場設置、こまつ座追悼公演、運筆堂文庫講演会の開催等を予定している。

答 展示場をできるだけ早く完成させ、情報発信に努めるように。

問 置賜広域行政事務組合負担金の増額理由はなにか。

答 2市2町（米沢市、南陽市、高島町、川西町）の消防広域化のため準備室を置き、その人件費4名分を増額する。今後統合方式、期日等主要調整項目の検討を行う。

問 中学校維持管理事業の工事費は、川西1中の黒板、屋内運動場の高窓開閉器の修繕費用である。

答 川西中学校開校に向けて引き続き整備を進めること。

問 経営体育成推進事業はどのような内容か。

答 認定就農者、認定農業者、集落営農組織が行う農業用機械、施設等（コンバイン4台、乗用管理機1台、ハウス等）に対し、国の経営体育成交付金を活用し支援を行う。事業費4822万円、補助額は1643万円。

問 川西ブランド確立事業の増額理由は、山形県アンテナショップ（おいしい山形プラザ、銀座）において、川西フェアを開催し、川西産商品の販売促進を行う。時期は1月頃を目途に県と協議したい。

問 国民健康保険の被保険者証更新は、8月1日の更新時に、世帯ごとから個人ごとのカード式の被保険者証に変更される。

遅筆堂文庫の今後の動向と課題

町長 — 山形分館への本の貸出しへ

淀 4月に死去した作家の井上ひさし氏に哀悼の念を捧げ、本町に尽くされた功績を行政にどう活かして残して行くかが今後の課題である。井上氏の蔵書7万冊が本町に寄贈され、平成6年にはフレンドリープラザ内に遅筆堂文庫が開館。現在、22万点を超える書籍と資料を有し全国に遅筆堂文庫が知れわたっている。

町長 今年で16年目を迎えた遅筆堂文庫とプラザの劇場は、相乗効果によって多くの来館者があり、文化の振興に足跡を残している。

淀 この文庫の開館にともなって生括者大学校を開校し、専門家を招いて農業講座などを開催、全国から受講者が集まった。またプラザ付属演劇学校を創設し、現在は「な

のはな座」として活躍。その他、編集講座も開かれていた。これらの学校や講座の継続はどうなるのか。また、お別れ会は。

町長 ご遺族の意向もあり、追悼事業として8月15日に「父と暮らせば」の公演に町内の小、中学生150人を招待する。

淀 平成20年に開館した遅筆堂文庫山形分館は、本町の姉妹館の役割を果たすことになっている。開館

町長 当初の計画では「井上ひさし未来館」と呼び、井上氏の仕事を再現。来年5月5日のこどもの日に開館することになっている。すでに構想のあった未来館の動向に対して、本町としてユニークな文庫の運営の在り方は。

町長 山形分館は民間運営、本町は公営の特徴をそれぞれ活かすことになり、山形と本町との本の貸出しで寄贈の本を利用してもらいたい。



再認識される井上文学・「遅筆堂文庫山形分館」

定例会2日目に、4人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

子宮頸がんなどの各種ワクチンの接種を町公費で実施せよ

町長 — 公衆衛生の見地から国県がすべきである。

橋本 近年女性のがんが増加している。毎年全国で約3500人の方の死因となっている。頸がんの七割がヒトパピローマウイルスが原因で、感染前にワクチンを接種すると予防できるため、「予防できる唯一のがん」といわれている。県内でもワクチン接種に対し助成を開始する自治体が出てきたが、当町でも実施すべきであるが、

町長 ワクチンがすべての子宮がんに対し恒久的な予防効果があるわけではないので、正しい知識を啓発し、検診によって対応した

橋本 ヒブ菌が原因の子どもは細菌性髄膜炎は、かかると重症化し死亡率も高い病気であるが、ヒブワクチン接種により防ぐことができる。また、高齢者の死因の4分の1にもなっている細菌性肺炎がある。その原因の多くは肺炎球菌が原因といわれている。特にインフルエンザ流行期にはインフルエンザと肺炎球菌が重なる症状は重症化する傾向がある。これも肺炎球菌ワクチンの接種が非常に有効である。

町長 健康増進や子育て支援の観点で検討するが、現在はいない、施策が各自治体で違ってくるのは問題であり、国県で取り組むことが望ましい。

新エネルギービジョンの展開は

橋本 政府方針では1990年比で2020年まで25パーセントの温室効果ガス排出削減を掲げており、各自自治体でもその対応が求められる。町ではフレンドリープラザの雪冷房システムのみに思われるがその後の進展は、更に、中小河川農業用水の利用による小規模発電を導入する考えは。

町長 CO2削減効果と費用対効果のバランスを見極め、ビジョンの設定や見直しを図る。

どう受ける!?「がん検診」

あなたがどんな検診をどこで受けられるか確認してみましょう！

あなたが受けられる「がん検診」は？
「がん検診」は、性別・年齢によって受けられる検診が異なります

男性	女性
対象…40歳以上 ●胃がん検診 ●大腸がん検診 ●肺がん検診	対象…20歳以上 ●子宮がん検診 対象…40歳以上 ●胃がん検診 ●大腸がん検診 ●肺がん検診 ●乳がん検診

※子宮がん検診と乳がん検診については2年に1度、その他は、1年に1度の検診が推奨されています。

がん検診の受診率をあげて
置賜のがん死亡を減らそう!!

がん検診受診率50%達成に向けたイメージキャラクター

ワクチン接種と共に検診も積極的に受けよう

橋本欣一 議員

淀 秀夫 議員

後世に伝えよう「井上ひさし先生」心の遺産

町長 ― 人類の遺産を万巻の「書」を介して伝えたい

斉藤 井上ひさし記念常設展示場設置計画が示された。先生の「心の遺産」を伝えることが重要である。

まず、私たちが先生の「心の遺産」を受け止めるためには、広報やホームページを通して、人間「井上ひさし」を伝えるべきであるがどうか。

町長 先生の業績や遅筆堂文庫を紹介する「ガイドブック」の作成や講演記録集の作成を進める。また、遅筆堂文庫生活者大学の遺産を「学びの場」として全国に情報を発信したい。

町報では、1年間先生の紹介コーナーを設けメッセージを伝える。山形のシベールに来年5月に「井上ひさし未来館」が作られる。生涯の地として、町はどのような独自の事業を行なうのか。

町長 長い間多くの蔵書を寄贈している。今年、町は、町報の第4次総合計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。

町長 重要な事業を盛り込んだ計画策定が求められている。



斉藤智志 議員



にぎわう遅筆堂文庫

の統廃合、小学校の統廃合問題等子育て環境政策に大きくかわる問題が山積している。後期計画は将来を見据えた町全体の総合的な計画策定の決意が求められている。町長の決意を求める。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

町長 本年は、将来を見据えたまちづくりの施策を明確にしていく大切な年である。後期計画策定は本町の将来発展の礎となる多くの施策を盛り込みたい。

就任7年目の施策に失望 町長の政治姿勢は

町長 ― 元気あるまちづくりに向け施策展開



まちづくりは「協働」で、「南向文化センター前」

高橋 原田町長は就任直後に、まちづくり基本条例の制定、地方交付税の減少による財政の立てなおしに強い決意で取り組まれ、矢継ぎ早に施策を打ち出した。

平成16年6月議会定例会で町長のまちづくりの基本理念である「まちづくり基本条例」が可決された。また、県から助役を迎えて徹底した補助金の削減や、町債の借り換えを可能な限り行い、財政健全化に取り組んだ。

財政的には予断を許さないものの、一時的に危機を脱した。また、昨年度臨時交付金6億5614

円が国から交付され、財政上先延ばしにしてきた公共事業にも着手できた。

町長 就任7年目の本年の施政方針が3月議会定例会で示された。今こそ原田カラーを打ち出せる予算編成であったはずが、その内容はある種の失望を覚えるほど、内容に乏しいものと受け止めた。重点施策として掲げた6項目の具体的な、独創的な施策は何なのか。私には見えてこない。

就任直後は協働のまちづくり、財政について周到に準備され臨ま

れたが、その後の施策、特に所得の向上や子育て支援について明確なものがあったので尋ねる。

町長 私は就任以来役場改革を進めてきた。平成17年集中改革プランを策定し改革を進め、まちづくり基本条例を制定し協働のまちづくりの推進を図ってきた。その結果危機的状況から脱出できる所まできたと考えている。

小松小の耐震は

高橋 耐震診断結果をふまえた対応は、構造耐震指標は基準を下回っており整備を行っていない。今年度末まで方向性を得たい。

町長 小学校は統合して2校にすると理解でいいか。

町長 平成18年2月策定した計画書では、小学校2校体制とすることとしている。

●その他の質問
口蹄疫防疫対策の取り組みは。（万全を期す）

平成22年7月15日発行

第102号

かわにし

議会議だより

第102号

平成22年7月15日発行

第102号

かわにし

議会議だより

第102号

条例 指定管理

たまにわ堆肥センター管理 『ランピードたまにわ』を指定



(株)ランピードたまにわが管理する堆肥センター、堆肥の利用拡大が望まれる

〔条例〕

本町の農家が飼育する家畜の排泄物処理を行い、環境の保全に努めると共に、生産される堆肥により、安心・安全な農産物の生産の振興を図るため「たまにわ堆肥センター」を設置する条例。この条例は、公布の日の平成22年7月1日から実施される。

たまにわ堆肥センターは、県営中山間地域総合整備事業の一環施設として玉庭地区に建設され、平成20年10月完成し山形県から川西町に譲与された施設である。

この施設でつくられた堆肥を田畑に入れることによって、農産物の付加価値を高めようとの目的もあり、堆肥センターは、環境保全と循環型農業の確立を目指す川西町にとってなくてはならない拠点施設といえる。

〔指定管理者の指定〕

この施設は町からの指定管理料（委託料）なしで運営することから、堆肥販売収入により経営を行わざるを得ないが、耐用年数が10年とされている屋根の修繕等10万円を超える大規模修繕費は町が負担することとしている。

堆肥は循環型農業に欠くことができず、堆肥の投入により化学肥料を減ずる等、有機栽培や特別栽培への利用が望まれるほか、多くの町民の方々の家庭菜園への利用も望まれる。

は、平成22年7月から平成27年3月末までである。

この施設は町からの指定管理料（委託料）なしで運営することから、堆肥販売収入により経営を行わざるを得ないが、耐用年数が10年とされている屋根の修繕等10万円を超える大規模修繕費は町が負担することとしている。

堆肥は循環型農業に欠くことができず、堆肥の投入により化学肥料を減ずる等、有機栽培や特別栽培への利用が望まれるほか、多くの町民の方々の家庭菜園への利用も望まれる。

全員賛成により可決

子育てを支援 『産後パパ育休』を新設

育児休業、介護休業の法律改正により、町職員の育児休業制度等を改正する。

町では少子化対策の課題となつてい仕事と子育ての両立支援を一層進めるために、雇用環境の整備を図る。

主な内容は、育児休業は出生の日から57日間に最初の育児休業（通称・産後パパ育休）をした職員は再度育休を取得できなかったものを、特別の事情がなくても再度取得できる。

3歳未満の子のある職員が、子どもを養育するために、請求すれば時間外勤務をさせてはならない。また家族の負傷、疾病、老齢のために、介護を行うことができないよう短期介護休暇を取得できる。

全員賛成により可決

採 択

請 願

◎米価下落歯止めと米備蓄体制に係る請願

《請願者》

川西町大字上小松978の1

山形おきたま農業協同組合経営管理委員会

会長 木村俊和

川西町大字上小松978の1

山形おきたま農業協同組合農政対策本部

本部長 木村俊和

《紹介議員》

全員賛成により採択

◎30人以下学級実現、教員待遇改善、義務教育費国庫負担制度拡充

に係る請願

《請願者》

長井市片田町4の19

山形県教職員組合置賜地区支部

支部長 赤間和宏

《紹介議員》

高梨勇吉

斉藤智志

全員賛成により採択

陳 情 書

◎改正貸金業法早期完全施行等を求める陳情書

《陳情者》

東京都新宿区四谷1の2伊藤ビル7階

全国青年司法書士協議会

会長 村上美和子

◎肺炎球ワクチンへの公費助成に関する陳情書

《陳情者》

山形市本町2丁目1の2山形県保険医協会

理事長 國井兵太郎

表紙の写真



6月中旬から暑い日が続く、各幼稚園、保育所では子どもたちが待ち望んでいたプールを使用した保育が開始されている。

表紙の写真は、中郡幼稚園の水遊びの写真。澄みきつた青空の下、熱心な先生方の指導もあって、無心に遊ぶ子どもたちの笑顔がまぶしく感じられた。この「笑顔が続く町づくり」を大切にしなければならぬ。

21年度から3億8688万円 18事業を繰り越し



川西中学校の給食室建設予定地

年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについては、翌年度に繰り越して使用することができると定められており、この経費のことを繰越明許費という。

平成21年度出納閉鎖の5月末日の繰越明許費が、議会に報告され、一般会計は17事業3億5088万円、水道事業会計は1事業3600万円が平成22年度に繰り越された。

22年度に繰り越した主な事業

・川西中学校給食設備の新設工事	1億8505万円
・川西中学校スクールバス車庫等	6100万円
・フレンドリープラザ舞台照明工事	3672万円
・町道オーバーレイ工事	2200万円
・高田中沖線道路改良工事	1040万円
・ケーブルテレビ受信機購入補助	576万円
・消雪ポンプ等修繕費	500万円
・消防庁舎前消雪工事	424万円
・子ども手当支給電算システム	405万円
・旧ボイラー室改修	402万円
・水道管布設替工事	3600万円

30人以下学級を実現せよ

3意見書を提出



ゆとり教育をめざして「川西一中授業風景」

日本の学校は、31人以上の学級に在籍している児童生徒の割合が小学校54%、中学校82%に及んでいる。

また、「OECD」との比較で見ると、GDPに占める教育費の割合は、日本はトルコについて下から2番目である。

このような状況を踏まえ次の3点について政府に意見書を提出する。

- ① 30人以下の学級とすること。
- ② 教職員の人材確保のため、給与の改善を行なうこと。
- ③ 小泉内閣当時3分の1に削減された国の負担を2分の1に戻すこと。

全員賛成により可決

米価下落をふせげ

次の3点について政府に意見書を提出する。

- ① 平成21年産米持ち越し在庫対策を講じ、米価維持に万全を期すこと。
- ② 政府備蓄米は、食糧安全保障の観点から300万t備蓄体制を早期に実施すること。
- ③ 米戸別所得補償は、再生産可能な制度設計と予算を明確にし、全販売農家が参加できるものとする。

全員賛成により可決

肺炎球菌ワクチンを公費助成で

肺炎は、全死亡原因の第4位を占めている。

また、肺炎球菌は、肺炎だけではなく敗血症や骨髄炎など様々な病気を引き起こす。長期の入院など医療費の削減や地域住民の健康増進につながることから、国・政府に対して「肺炎球菌ワクチン」の予防接種を国の助成により行なうことを求め、政府に意見書を提出する。

全員賛成により可決

広報モニターから

ひとこと⑤

玉庭 吉村 徹さん

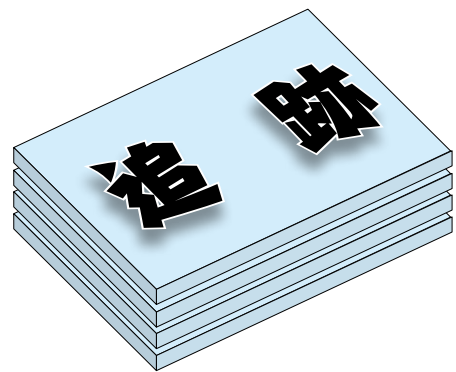


議会だよりモニターの委嘱を受け、30数年ぶりに議会を傍聴する機会を得ました。昔は現在の倍くらいの議員さんがいて議場狭しと感じたものでしたが、随分と縮小されたものだなという思いの中で傍聴させていただきました。

きました。4名の議員の方が一般質問に臨みましたが、6月議会ということで、やや緊張感を感じられませんでした。

最近の経済不況と、政権が自民党から民主党に代わるなどの政治的混乱の中で、一般的に経済状況も回復の方向にあるといわれています。しかし私たちの暮らしは、仕事や雇用の問題等まだまだ厳しい状況にあるのが現実ではないでしょうか。そういった切実な声が町政に届けられているのだろうかという思いを持ちました。

限られた権限、財政の中で、町民の暮らしを守っていくために議会と行政が、町民の目線に立って一丸となっていくことが求められているのではないのでしょうか。



あれから…… どうなった！

消防の広域化は

平成21年4月1日置
広に消防広域化推進室
を設置し、将来的な必
要性、重要性や財政予
測シミュレーションが
提出されたが、全市町
に財政メリットのある
財政負担に配慮した修
正財政シミュレーショ
ンで協議することで合
意した。



広域消防の準備がすすむ中、川西町消防署は…

平成18年6月の消防
組織法改正により、置
賜広域行政事務組合
(以下「置広」という)
では、県から「山形県
消防広域化推進計画」
の説明を受け、置賜3
市5町による消防広域
化について検討するこ
とで確認合意した。

平成22年2月の理事
会で西置賜行政組合か
ら、当面、西置賜はこ
のままでもいく意思表
示がなされ3市5町によ
る消防広域検討の打ち
切りと消防広域化推進
室の廃止及び平成22年

度予算からの当該予算
の削除の提案があった。
協議の結果、西置賜の
提案決定を重く受止め
提案に合意した。

これを踏まえ平成22
年2月9日の置広理事
会にて東南置賜2市2
町での消防広域化を決
定し、置広議会2月定

西置賜離脱 米沢、南陽、高畠、川西で広域化

え方や認識の違いが明
確化した。

例会で議決された。

この結果を受け、確
実に広域化に移行でき
るよう、2市2町の首
長が合意した「米沢市、
南陽市、高畠町、川西
町の消防広域化に係る
確認書」に基づき、具
体的に協議を進めてい
くことが確認された。

まちの未来が見える
議会傍聴においで下さい
次回の定例会は9月です

総務文教常任委員会

小松小、補強か改築か

委員会 レポート

5月30日、小松小学
校校舎の耐震診断結果
を受け、現地視察を
行った。
昭和43、44年に建設
された校舎は、平成5、
6年に大規模改修工事
を実施した。
平成16年10月におき
た新潟中越地震をきつ
かけに、国は特に学校
校舎の耐震診断を呼び
かけ、小松小学校も平
成21年1月から12月
にかけて、校舎の耐震診
断を行った。
その結果、3階建て

2棟とも、文部科学省
が定めている構造耐震
指標0・7を、大きく
下回り、コンクリート
強度が不足している。
耐震補強工事につい
てコンサルタントから
校舎1階2階はそのま
ま残し、3階部分を解
体撤去する提案がなさ
れた。
概算事業費は、教育
総務課の調べでは、補
強工事の場合は9億7
900万円、全校舎改
築の場合は14億600
0万円となっている。



視察して強度不足を実感



本町で初めての施設に興味津々「ケアセンターとこしえ西大塚」

調査も実施した。
「ケアセンターとこ
しえ西大塚」は、小規
模多機能型居宅介護施
設として本町では初め
ての事業所として4月
1日に開所された。高
齢になり障害があつて
も今まで暮らしてきた
自宅や地域との生活が
続けられるようサポー
トすることが施設の目
的となっており、本町
在住者のみを利用可。
登録者数は、開所間も
ないのでまだ2名。
「東沢活性化セン
ター」は、木造平屋建
の496㎡で3月末に
完成した。新たな活動
拠点ができたとによ
り地域づくりに一層弾
みがつくものと期待。

産業厚生常任委員会 自宅での生活を支援



❖ プロフィール ❖

やまだ ようこ
山田 洋子

昭和44年川西町中郡生まれ。
中郡地区交流センターに臨時職員として勤務。夫、娘3人、母の6人家族。

今回の町民の声は、中郡地区交流センターに勤務されている山田洋子さんに、川西町の暮らしの思い出や、仕事に対する思いを聞いてみました。

川西に住んでいて良かったことは

私は川西で生まれ、川西で育ちました。そして私の娘たちもこの豊かな自然に恵まれた環境の中で、周りの人たちの優しさに包まれながら、健やかに成長してきました。

私と同じ環境の中で娘たちを育てることができたことを今はとても嬉しく思います。

川西での暮らしの中で一番の思い出は

私が小学生の頃、学校には鼓笛隊があり、全校生で『川西音頭』を演奏し、踊った記憶があります。一所懸命練習したおかげで、今でも♪愛と緑と丘の町♪と口ずさんでしまうことがあります。
小・中学校の校歌同様、ふと思い出し口ずさむことのできる『川西音頭』は私の大切な宝物です。

地区交流センターでどんな仕事をしていますか

私は今、中郡地区の交流センターでお世話になっていきます。

センターを訪れる地域の皆さんから優しく声を掛けて頂いたりして、皆さんの温かさに触れ、改めてここに住んでいて良かったと感じる毎日です。

私の仕事の担当は、特産物に関することです。川西町には『紅大



3人の子どもと母に感謝の毎日

豆』という特産物がありますが、中郡地区を代表する物として、何か特産物と呼べる物はないものかと、今いろいろな方からお話をお聞きしています

中郡地区では、数年前にシンボルマークができました。今度は特産物ということで取り組みを始めたばかりですが、少しでも地域の皆さんのために貢献できればと思って、毎日の仕事に励んでいます。

編集のあとで

▼今年は川西町が誕生してから55年目となり、ダリヤ園もオープンして50周年を迎える節目の年▼今まで以上に観光を目的としたユニークな誘客活動を積極的に展開し、町内の産業振興につながることを期待したい。▼今号も、わかりやすい議会報づくりに全力で取り組んだが、その出来はいい。

(高照)

発行責任者 金子 一郎
委員長 佐々木 賢一
副委員長 斉藤 智志
委員 高橋 輝行
同 高橋 照夫
同 遠藤 章一
同 橋本 欣一
アドバイザー(文章) 小林 伸也
近野 ユキ子
アドバイザー(写真) 坂野 吉平
青木 督平
鳴 源一